

No.183

令和5年11月22日発行

北海道
天塩町議会



啓徳小学校「おのぶないメガフェス」

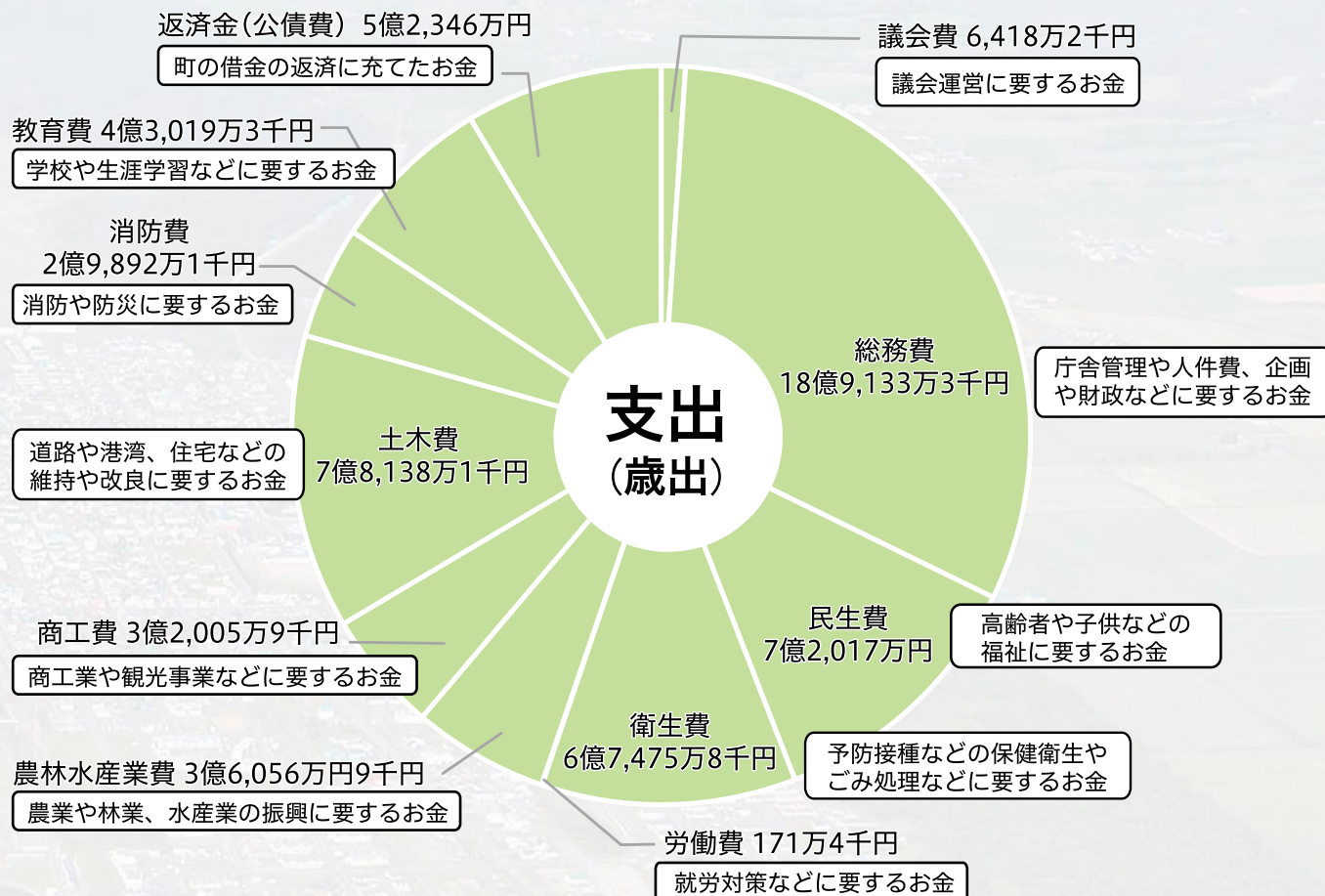
- ② 第3回定例会
令和4年度決算を認定
- ⑧ 一般質問
町政を5名が問う
- ⑬ 委員会レポート

議会だより
てしお

認定しました

決算審査 特別委員会

9月12日



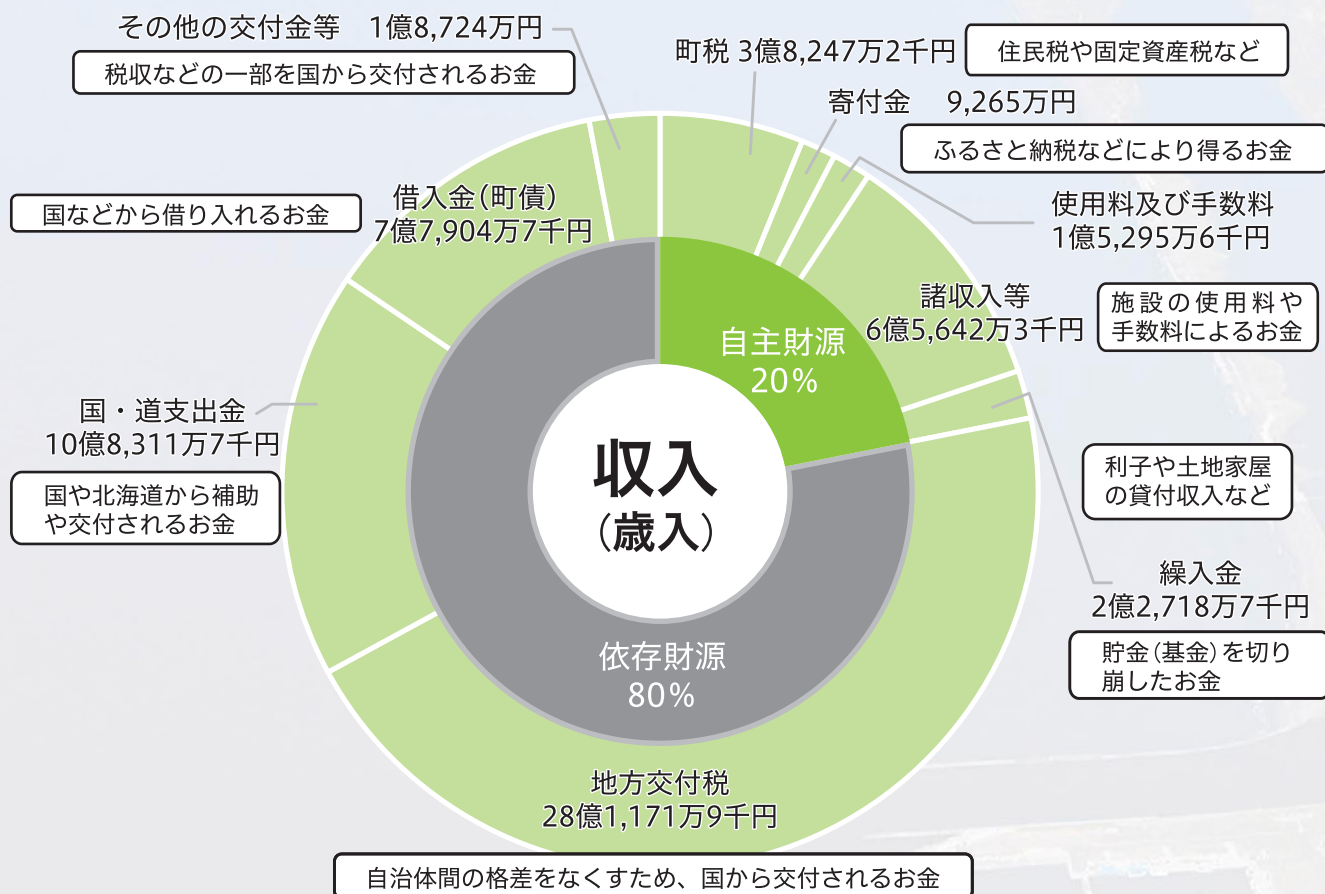
一般会計 支出(歳出)
60億6,730万円

令和4年度各会計収支(歳入・歳出)一覧 ※カッコ内は前年比

会 計 名		収入（歳入）	支出（歳出）	差引
一 般 会 計		62億2,282万円（21.4％増）	60億6,730万円（30.7％増）	1億5,552万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	4億2,706万円（7.3％減）	4億2,677万円（5.1％減）	29万円
	病院事業（収益）	7億6,035万円（4.6％増）	7億1,944万円（1.0％減）	4,091円
	病院事業（資本）	1億3,711万円（28.7％増）	1億3,711万円（28.7％増）	0円
	水道事業	3億6,312万円（29.5％増）	3億5,338万円（32.3％増）	974万円
	下水道事業	2億4,489万円（12.5％減）	2億4,332万円（12.4％減）	157万円
	介護保険事業	3億4,123万円（0.3％増）	3億1,399万円（4.7％減）	2,724万円
	介護保険サービス事業	5,944万円（32.1％減）	5,801万円（32.4％減）	143万円
	後期高齢者医療	4,904万円（2.0％増）	4,879万円（1.5％増）	25万円
	町民保養センター事業	7,757万円（16.6％増）	7,657万円（16.8％増）	100万円
全 会 計		86億8,263万円（15.4％増）	84億4,468万円（20.7％増）	2億3,795万円

令和 4 年度

各会計の決算を



一般会計 収入(歳入)
62億2,282万円

町民 1 人あたり
約26万円の貯金

町民 1 人あたり
約150万円の借金

貯金(基金)残高の推移(財政調整基金)

平成30 年度	6億3,696万円
令和元年度	6億7,697万円
令和 2 年度	6億7,698万円
令和 3 年度	6億7,699万円
令和 4 年度	7億1,699万円

借入金(地方債)残高の推移(一般会計)

平成30年度	43億3,858万円
令和元年度	42億411万円
令和 2 年度	40億8,451万円
令和 3 年度	39億7,330万円
令和 4 年度	41億654万円

1,250万円



衛生費

有害鳥獣駆除経費
シカ以外の経費補助は

渡辺

アライグマやクマの駆除には補助は出ないのか。

住民課長

道の地域づくり総合交付金にはアライグマ、クマに対する補助は含まれていないのが現状です。今後道の動向を注視し検討します。

令和4年度 決算審査

決算審査特別委員会で行われた委員からの質疑や提言を、要約して一部お知らせします。

委員会での質問数 **27** 項目

445万円



農林水産業費

天塩町酪農ヘルパー事業
ヘルパーの処遇改善を

渡辺

人員確保の観点からもヘルパー事業の改善が必要では。

農林水産課長

以前も天塩町農協に同様のことをご相談した経過がありますが、新たな組織となった中で再度どのように考えるかということも含めて協議していきたい。

132万円



労働費

季節労働者冬期就労対策事業
事業を支えていく対策が必要

山本

冬場の除雪を担っている高齢者事業団だが人員が足りていないという声もある。今後更なる支援が必要では。

企画商工課長

今後事業内容を精査し、検討します。

2,557万円



農林水産業費

パンケ沼底質改善事業
資源の回復は

山本

シジミ資源の回復は順調か。

農林水産課長

覆砂事業については、令和12年まで計画され、資源量については、令和4年度で163トン、令和5年度で200トンとなっており、徐々に回復していると捉えております。

民生費

結婚新生活支援事業
該当者なしの理由は

長山

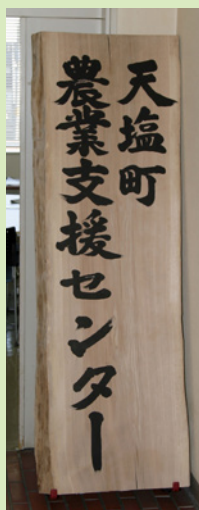
令和4年度の該当者がいない理由は。

福祉課長

条件が夫婦所得500万円未満で住宅費、引越費用、リフォーム費用を支援する事業です。結婚した方はいますが条件に合わず、実績として0件となっています。



57万円



農林水産業費
農業支援センター推進事業
支援センターの今後は
渡辺 今後の方向性についてお聞きしたい。
農林水産課長 条例化になっている組織ということもあり、今年度の活動を踏まえながら、今後どうあるべきかを検討してまいります。

240万円



衛生費
医療職員養成修学資金貸付事業
医療職の定着に繋がる対策を
渡辺 天塩町に定着し働き続けられる環境づくりが必要では。
町長 職場や環境が大きく影響していると感じております。現場の上司の方々も一生懸命指導していますが、現状退職する方もおり、今後対策が必要だと感じております。

200万円



農林水産業費
天塩町乳牛検定組合補助金
乳検戸数と次年度予算は
草刈 酪農件数が減少しているが乳検戸数はどうなのか。またそれに伴う年度予算は。
農林水産課長 昨年度は53戸でしたが今年度は50戸に減少しております。補助金額については昨年度同様200万の支出となっております。

1,140万円



商工費
鏡沼海浜公園管理経費
鏡沼海浜公園の整備の考えは
山本
鏡沼の水の衛生管理や周辺施設の整備についての考えは。
町長 施設の維持管理について、徹底してやりたいのでしっかりと計画を立てなければなりません。鏡沼の水については、今後河川事務所と協議をしていきたい。

1,581万円



教育費
ファミリースポーツセンター管理経費
体育館床の不具合、現状は
山本
床の不具合について、直されていないが、現状は。
教育次長 床にへこんでいる部分と端の部分が少し沈んでいるというのとは確認しております。現状修繕はしてありません。

6,411万円



教育費
小学校・中学校管理経費
エアコン設置の検討は
山本 児童生徒たちが快適に勉学に励めるようエアコンの設置が必要では。
町長 現在エアコンの整備がされておらず、今年も暑さのために学校を早退させたということも聞いており、そういった支障がないよう取り組んでまいりたい。

90万円



民生費

敬老会の今後の考えは

敬老会執行経費

草刈 町内会を通じて

1人2千円を補助しているが、その使い方は町内会でバラバラの対応となっている。町としての考えは。

福祉課長 来年度は、イ

ベント形式の開催も含めて考えていきたいと思っています。

29万円



総務費

公認インスタグラマー事業 事業の成果と今後の在り方は

山本 事業の成果を検

証すること、それに伴うての内容の見直し、ありかたの検討が必要では。

企画商工課長 町の食

材を活用した料理を発信していただき、ふるさと納税の増加を期待しております。今後協議し検討してまいります。

50万円



民生費

放課後児童保育事業 施設の環境整備の改善は

放課後児童保育事業

山本 こがら児童クラ

ブの運営について、所管事務調査で指摘もしている。しっかり対応していただきたい。

福祉課長 いろいろな

ご指摘をいただいておりますが、現時点で大きな改善点はありません。快適になるよう検討している段階です。

2万円



総務費

多文化共生推進事業 町在住外国人の交流の場を

山本

町在住の外国人の交流の場や日本語教室の実施など環境づくりが必要では。

企画商工課長

町長や担当課内で再度協議し検討してまいります。

50万円



農林水産業費

農業経営体ICT導入支援事業 公平な支援検討を

農業経営体ICT導入支援事業

菊地

今回5戸を対象に支援しているが次年度もやるのか。もっと幅広い支援が必要では。

農林水産課長

財政事情も鑑み、今後も取り組んでいきたいと思っていますので。

1,250万円



衛生費

有害鳥獣駆除経費 農業者への救済は

菊地

駆除ではなく、被害にあった農業者へ直接救済が必要では。

町長

農業者の方々から被害についてお話を伺っています。今後の支援について、担当課と検討していきたいと思います。

補正予算ピックアップ

- 7回目のコロナワクチン接種費用
- 小・中学校とスキー場管理経費

第3回 定例会

9月12日

歳出（主なもの）

新型コロナウイルス 予防接種事業	394 万円
商工振興事業補助金 (プレミアム商品券)	800 万円
小学校中学校管理経費 (小・中学校修繕料)	325 万円
町営スキー場管理経費 (圧雪車修繕料)	170 万円



3軒の方とお話しましたが、入居者の高齢化と年金生活により、この建物を引き継いでも、維持していく自信がないという意見をいただいております。

企画商工参事

歳入歳出について、総額を50億8200万円とする補正予算案を可決しました。

一般会計

補正予算

小中学校管理経費など
6500万円追加

質疑要旨

山本

収入に対し、管理経費が多いニューカントリーハウスは、譲渡も含め今後どのように考えているか。

教育次長

小学校費については、高圧ケーブル取り換え費用で、中学校については、体育館で雨漏りしており、屋根のウレタンの塗装にかかるものです。

スキー場については、圧雪車の運行前の定期の修繕料となっております。



渡辺

小学校費、中学校費、保健体育費のそれぞれの修繕料の内容は。

山本

観光費の車庫改修工事の場所と内容と改修後の目的は。

企画商工課長

夕映にある2連のオーバースライダーの車庫で、壁と屋根が腐食しており、シャッターの1箇所が開かないところを改修するものです。

改修後は、道路維持の車庫から機械が溢れて入らなくなっているため、ミニロータリーやホイールローダーを入れる予定です。



その他

(主なもの)

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

防災や減災、国土強靱化に必要な予算の安定的で継続的な確保を求める意見書案を可決しました。

○天塩町議会委員会条例の一部を改正する条例

「議会広報特別委員会」を「議会広報聴取委員会」と改正し、可決しました。

○固定資産評価審査委員の選任

高橋泰史氏の再任に同意

○天塩町教育委員会委員の任命について

黒川淳子氏の再任に同意

北海道縦貫道整備と

雄信内の並行した取り組みを

現在の状況、今後の方向は

北海道開発局は令和4年12月に中川・天塩間の第1回説明資料を作成し、計画段階の評価の検討と地域の概況、地域道路の状況、課題の整理など本格的に地域の意見聴取の実施をしたが、調査票の進捗結果など抑えているが、

また、調査結果を踏まえた中で、国道へ道路整備の陳情要請をするべきと考えるが町長の見解は。

同時に雄信内地域のまちづくりを40号の道路整備と並行して進めることが必要だが町としての考えは。

や防災など、整備効果が期待される事業であり、今後も、各種期成会や関係機関と連携した積極的な要望活動に尽力したいと考えております。

雄信内地域のまちづくりについては、生活改善センター及び老人憩いの家等の公共施設老朽化対策、水害に対する防災性の向上、コミュニティ活性化への施策として、複合的な施設整備の構想を立てており、道路整備の将来像を的確に捉えながら、町民の皆様や関係機関と共に、地域の持続的な発展に資するインフラ整備を図ってまいります。

町長

7月下旬から8月にかけて、住民へアンケート調査が行われ、本町としてもHPや回覧、LINEなどで周知し、積極的な呼びかけを行い、現在集計中となっております。

北海道縦貫自動車道（中川天塩間）の道路整備については、救急医療、物流



带状疱疹ワクチンの助成を

助成や補助の考えは

带状疱疹患者が増えているとされており、ワクチン接種で予防できるが、接種費用が43000円ほどかかる。

近年半額助成をしている自治体が増えており、ワクチンで予防できるPRも行われている。

町としても予防ワクチンに対して半額助成、もしくは一部補助をするべきと考えるが、町長の見解は。

町長

8月現在、道内で30の市町村が接種費用の助成を行っており、留萌管内で

助成をしている市町村はありませんが、近隣では幌延町が接種費用の一部を助成しています。

ワクチン接種に関しては、原則、国による統一した接種制度の実施が望ましいと考えるところであり、町として、任意接種に対する助成を導入するにあたっては、接種対象者の範囲など慎重に判断する必要があると考えます。本町では、約1200人が、発症率の高い年齢層に属していることや、接種費用の助成は継続した支出になるものと考えられることから、具体的な判断基準が必要であると考えます。

町として、今後も情報を収集しながら継続して検討していきたいと考えております。



山本 春光 議員



交通体系の今後の取り組みは

デマンド交通について

①実証運行が行われたが、今後デマンド交通利用者の声を取りまとめ、町民ニーズに応える対策が必要と考えるが今後の取り組みの考えは。

②実証運行以降、現在までの進捗状況はどうなっているか。

③町民、高齢者への周知を、確実にお届けする方法を再考することが必要だと考えるが町の考えは。

町長

①・②昨年11月から2か月間実証運行を実施し、78名の利用者登録がありました。現在は21名で、約3割程度となりました。実証運行後のアンケート



トでは、「自宅までの送迎」で満足する声が多くある一方「待ち時間が長い」などの理由から利用を見送ったとの声も多くあり、一部改善を含め本格運行を望む声もありましたが、実証運行の結果を踏まえ、増便や運行方面の見直しによる輸送人数の改善など、経費増額が予想されることから現行の公共交通体系と比較し、慎重に検討してまいります。

③お年寄りの方は、ホームページを頻繁に見る方は多くないですし、スマートフォンについても、教室を実施し利用を進めてきていますが、まだまだ万全ではございません。町民、特にお年寄りへの周知方法については、永遠のテーマですが、常に考え検討し100%に向かって進んでいきたいと思っています。

ハイヤー事業への対策は

ハイヤーは、町民生活の足となるきわめて大切な事業だが、早い時間に営業を終了しており、不便だという声も

よく聞かれます。雄信内地域については、スクールバスを利用する形での取り組みをしていると認識していますが町として、事業者と連携しながら、交通を存続、確保するための取り組みとして、第二種運転免許取得助成金事業などを考えることはできないか。

町長

ハイヤー等の地域交通は、地域の日常生活活動に不可欠な交通手段であり、これら利便向上を図る上でも運行事業者との連携が求められます。雄信内地域の公共交通につきましましては、スクールバスを利用し運行しておりませんが、降車後の移動は、ハイヤーが大きな役割を果たしていることから、継続した連携と利用促進施策等による

交通の持続性確保の取り組みが必要であると考えております。

昨年10月のハイヤー事業者の撤退による約3か月間の空白期間におきましては、町民の皆様から不安の声を多くいただき、ハイヤー事業の持続性確保の必要性を再認識したことから、令和4年度に、人材確保に係る経費への支援として、運転手募集に係る経費や第二種免許の取得費用に対し補助を実施したところです。

今後は、仮称「町民バスポート」の導入など、現行のハイヤー運賃助成制度等の見直しを行うことでハイヤー事業の利用促進を図るなど、地域交通の維持確保に向けた施策を検討してまいります。



長山 志津子 議員



職員不足どのような対策を

現在の状況、今後の方向は

①過去5年間で15名が退職しているが、その理由や定年後の再任用された人数、不足人数の詳細は（技術職も含め）

②社会人採用について、初めての実施となるが、採用条件の見直しや斬新で魅力的な内容を打ち出さなければ極めて困難と考える、今回の内容は。

③民間での働き方改革を参考に子育て世代への柔軟な対応や、テレワークの充実、産休・育休といった休暇制度など生活面と密接した条件や改革が必要と考えるが町の考えは。

町長

①退職の内訳は、定年退職が3名、自己都合退職が10名、死亡退職が1名免職が1名の15名となっております。

②一般職は、5年間で7名が就職しており、留萌町村会を通じ、採用募集をしておりますが、ここ3年間、天塩町への勤務希望者がいない状況です。

当町においても、今までの社会人

として勤務され、新たな知識・発想を天塩町に取り入れていただくため、民間就職サイトを活用し、社会人採用の導入を行ったところです。

6月下旬より開始し、8月下旬までに23名の方から応募があり、書類審査や適性検査（SPI検査）が行われ、最終3名について面接を行い、2名の方の年内の採用に向け承諾を待っているところです。

③採用条件の見直しの件につきましては、原則として地方自治法や地方公務員法を順守しながら行っております。一般職といってもいろいろな職種があり、例えば各種技能を持ったスペシャリストの採用を行っていくことも一つと考えております。またご指摘のとおり、横並びのような集め方では集まらないということは重々承知しております。今後、職員募集に真剣に取り組むことを肝に銘じております。

技術職と正職員に格差は

技術職について、正職員との格差を設けなければ、今後採用があった場合、過去のような問題も再発するのではと考えるが、町長の見解は。

町長

以前においては、労務職と一般職といった給料体系が違う発令でしたが、現在労務職はいない状況です。病院や認定こども園など、職場で必要な免許を取得されているも職員も一般職と

同様な給料表によって発令している現状です。

また以前より、建築士や土木技術職員、保健師、看護師、保育士の募集を行っておりますが、なかなか応募がされていない状況です。

このような状況の中、専門学校や大学など、直接担当職員が学校に出向いて、天塩町への推薦をお願いしているところでございます。



石山 直継 議員



特定空き家の対策と現状は

現状と対応は

- ①町の現状として近年の特定空き家の戸数、及び解体数の推移は。
- ②解体補助金の実績は。
- ③現在の補助金制度は住居対象だが倉庫や牛舎などの解体へ範囲拡充の考えはあるのか。

町長

①1戸の建築物を認定しており、現在も解体等が行われず、相続代表者が存在しない状態が続いております。暴風雨によって屋根部分が半壊しており過去に被害拡大防止のため応急的な作業を行っています。

②R4年度実績は、補助件数3件、補助金総額150万円となっております。

③本補助金は、所有者または相続者が高齢であることや町外にいらつしやることなどを理由に管理が難しい状況や経済的な理由などから処分が進まないまま危険な建築物となってしまうないように適切な管理を促すため創設し



た補助金であります。事業活動に係る資産の除却に対する補助拡大はこの補助金の趣旨に沿わないものと考えています。

特定空き家に指定されていない空き家でも危険な建物が数件存在しており、所有者は解体したいが物価高騰により踏み切れないという方もいる。現在の補助金制度を見直し、例えば収入や年齢、家庭環境、建物の危険度などにより、補助割合の拡大

町長

や上限金額の増額などの対応、対策をし、特定空き家にならないよう、所有者の方と話合っていく必要があると考えるが町の見解は。

現在、家を産廃処理も含めて解体するには、300万円前後かかると認識しておりますが、この制度は、50万円が限度となっております。ただ補助率を上げる、限度額を上げることで解体は進むかもしれませんが、リノベーションやリフォームした方がいい住宅もありますので、そういったところも検討していきたいと思っています。



桑田 孝彦 議員



農業情勢への対応策は

現在の状況、今後の方向は

①現状の農業情勢の悪化は1つの自治体や農業団体で動いてどうにかなるという状況ではない。大きな団体を作って要請活動をする必要があると考えるが町の見解は。

②個々の農家が離農する、しないは仕方ないことだが、このままでは天塩の1次産業である農業が成り立たなくなるのではないか。これについての考えは。

③同じ産業を主とする自治体の首長で中央要請、また農業団体と一緒にやって要請活動をする考えはないか。

町長

①・③町として北海道酪農振興町村長会議に加盟しており、昨年度、全国町村長大会の前日に中央要請を行っており。今年度は、11月14日に道内選出の国会議員と農林水産省に対し行う計画となっております。

また、農協に対し、要請行動があれば参加させてもらいたい旨の依頼をしており、積極的に参加したいと考えております。

②国際情勢の変化に伴う物価高騰の影響は、特に農業分野で深刻であり大変憂慮しているところです。中でも離農については危機的な状況だと認識しており、令和3年で3戸、令和4年度で4戸と増加傾向にあり、今年度においても搾乳中止の農家を含めると既に5件が離農予定となっております。

昨年度は、町の支援として、「飼料価格高騰緊急対策事業」や「畜舎施設等燃油価格高騰対策事業」を実施しておりますが、町単独で農業者が潤うだけの支援を行うには膨大な財源が必要であり、現実的ではないことから、今後中長期的支援策について、既存農業者や新規就農者が夢をもって、理想とする農業が実現できるよう、国に対し要請し続けていきます。

農業者がくじけそうになる、やる気がそがれている、この思いをやる気にさせる起爆剤になるような支援策が少額でも必要と考えるが、町長の考えは。

町長

この状況を何とか打破するために、何よりも営農を続けていこうとされる若い方々が希望を持てるように生の声を聞いて、政策に生かし、また要請活動、勉強会があれば、積極的に参加していきたいと考えております。少額でも支援策ということですが、生産者が求めるものを慎重に吟味しなければならぬと思っております。



渡辺 修勝 議員



委員会調査レポート

産業厚生常任委員会

7月6日

天塩町立国民健康保健病院の運営状況について

調査結果

病院の利用状況については、外来の部で、令和3年度の患者数は前年度と比べ39.9%増加し、令和4年度では対前年度と比べ11%減少となっているが、主な理由として、コロナウイルスワクチン接種者数があげられます。

入院の部は、令和2年10月より介護療養病床18床を一般病床に転換したため、病床利用率は減少傾向ですが、令和3年度以降大幅な入院患者の変動は見られない状況です。

収支については、令和3年度対比で460万円ほど支出増が見込まれますが、これは光熱水費の高騰が主な要因と考えられます。

また今まで、医師及び医療スタッフの確保を進めてきましたが、医師に関しては採用に至らない状況であることを確認しました。

医療スタッフに関しては、将来不足が予想されることからその対策が急務な課題であると考えます。

質疑

石山委員 現状で看護師の人員が足りているのかどうか。
今後の人員の見通しは。

師長 15対1の体制を取っており、看護補助の加算比率に関してはクリアできています。しかし今後、将来の見通しを常に考えておかないといけない状況です。来年度の退職は今のところありませんが、職員が高年齢化しており、再任用の方の退職が見込まれています。

菊地委員 患者数が昨年より減っているが、これはいいことだと思う。それだけ町民が健康という証だと感じる

師長 今までは収支改善のためにどうしたらいいかが中心でしたが、天塩町の町民が元気で良かったと言ってくださり、とてもほっとしました。

調査意見

近隣町村は病院から診療所へ転換し、48床の病院として運営しているのは天塩町のみとなっている状況。収支改善のため、西天北五町や稚内市立病院、名寄市立病院などとの連携強化を今後とも最重要課題として検討していただきたい。

現在の常勤1人体制では医師の負担が大きく、新たな医師の確保は重要な課題である。現場スタッフと十分協議を重ねながら早急な対応を進めていただきたい。また、医療スタッフの今後の採用については、人件費や職員の定数、構成だけではなく、現場の状況も考慮した採用を望むものであります。

現在の町立病院の利用に関し患者数が減少しているように見られますが、その理由として、本町の福祉医療サービスなどにより予防医療や早期対応が促進され、患者の状態やニーズがより一層的確に把握され適切なケアプランが立てられるため、医療機関、ケア施設、福祉行政との連携が適正な医療サービスや支援の提供に繋がり、入院回数や慢性疾患、病気のリスクの低減などが患者数の減少に向かっており、今までの本町の福祉行政と病院スタッフとの連携による成果の表れと推察できます。



天塩町各基金の現状と今後の見込み

単位：千円

基金名	R5.6.22 現在	基金内容
財政調整基金	716,989	災害復旧、その他財源不足を生じたときの財源に充てるための基金
減債基金	83,399	町債の償還財源に充てるための基金
町営草地基金	48,484	町営草地等の施設、機械類の更新及び取得金額等に要する基金
国鉄羽幌線代替輸送確保基金	45,092	代替輸送事業の財源に充てるための基金
振興基金	129,728	原資から発生する益金を効果的な事業に充てるための基金
地域福祉基金	138,037	地域福祉推進を図る民間事業者支援の基金
ふるさと応援基金	571,238	ふるさと納税寄附金による基金
酪農振興基金	130,405	酪農の振興を図るため資金の貸付に要する基金
国民健康保険財政調整基金	206,007	国民健康保険特別会計の安定的な運営を図るための基金
介護給付費準備基金	29,168	介護保険特別会計の安定的な運営を図るための基金
森林環境譲与税基金	35,719	森林整備や促進に必要な事業に要する経費の財源に充てるための基金
合 計	2,134,266	

基金の用途については、使用制度など町民が利用しやすいような条例、規則等の改正を検討願いたい。

ふるさと納税の現状とこれからの取り扱いについて

単位：円

年度	件数	寄附額	利息	計	取崩額	基金残額
H29	15,530	394,627,137	350	394,627,487	135,512,000	296,198,790
H30	15,797	423,539,198	3,211	423,542,409	237,928,000	481,813,199
R1	3,044	83,880,157	4,962	83,885,119	46,800,000	518,898,318
R2	3,623	115,866,160	5,247	115,871,407	62,781,000	571,988,725
R3	3,098	85,547,763	5,808	85,553,571	84,896,000	572,646,296
R4	4,751	90,131,700	5,881	90,137,581	92,439,000	570,344,877

令和4年度は前年度に比べ、寄附額で5.4%の増額で90,132千円、納税件数でも53.4%増の4,751件の寄付があった。しかし、本町においても市町村間の返礼品競争により一部自治体に寄附が集中し、また総務省によるふるさと納税に係る制度（基準等）の見直しなどのため年々減収状態となっている。

そのためにもふるさと納税返礼品の開発に取り組む必要があるが、魅力ある特産品の開発等に取り組む事業者に対し、事業費（商品開発費、運営資金等）調達や支援の方法を再考する必要があると考えます。

教育委員会関連施設の概要説明及び視察について

調査結果及び意見

①スポーツセンター前広場の遊具改修構想

昭和55年「コミュニティ広場整備事業」で一部遊具が設置され、平成13年度の「子育て支援事業」で現在の形に整備された5種類18基の遊具は、老朽化が著しく、鉄柱部分の塗装も劣化し、稼働しない箇所も多数見受けられ、危険な状態であることが確認されました。

今後遊具等の設置にあたっては、森林環境譲与税基金等を活用し、木製の複合遊具を更新したいとのことですが、ボールなどで遊ぶ場所やアスレチック遊具など子どもたちに喜ばれるものが望ましいと考えます。



調査結果及び意見

②天塩川歴史資料館煙突改修計画

本施設は、昭和26年建築の旧役場庁舎を整備し、平成元年に「天塩川歴史資料館」として開館しました。建築から70年以上経過していることから、目地や煉瓦の劣化が目立つとともに、西側煙突部分は小中学校の通学路側に面しており、災害時に崩壊の恐れがあるとのことで、令和4年度に一部撤去する予算が計上されましたが、景観を重視し保存の方向で検討が進められ、改めて令和5年度に煙突の配筋調査に関する予算が計上されています。

煙突に関しては調査の結果を経て最終的な判断が必要となりますが、目地の欠落箇所の修繕を早急に対応するよう指摘しました。





今回の表紙 啓徳小学校「おのぶないメガフェス」

10月14日に啓徳小学校・雄信内保育所合同学芸会が開かれました。
「お客さんに最後まで笑顔で見てもらう」を目標に、全校児童による迫力満点の「啓徳ソーラン」や、園児たちによるお遊戯「ジンギスカン・ダンス」など、日頃の練習の成果を発揮した魅力あふれる歌や踊り、劇、演奏が行われて盛大な学芸会となりました。

「議会広報特別委員会」が「議会広報広聴委員会」になりました。

■議会における広報広聴の意義

執行権を持たない議会において住民自治の拡充を目指すには、広報広聴活動が原点であることから「広報広聴機能の充実」のため9月議会で特別委員会から常任委員会となりました。

議会の広報広聴は、地域課題や町民ニーズを広聴活動の中での確に集約し、議会活動のプロセスや結果を町民に広報することで、議会への認知、興味や関心、参画意欲を高めるきっかけをつくり、議会と町民を繋ぐ役割を担っています。

■議会における広報広聴の役割



議会を傍聴しませんか？



第4回定例会は
12月12日～14日の予定です。

天塩町議会 | 検索

YouTube



議会の情報を発信していますので
ぜひご登録ください。



町民相談コーナーを開設しています。ご相談がある方は
お気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。

【発行】天塩町議会 【編集】議会広報広聴委員会 ☎098-3398 北海道天塩郡天塩町新栄通8丁目 ☎01632-2-1001 (代表)

この議会だよりは、わかりやすく、読みやすいUD FONTを使用しています。